

1989. 3

愛鳥教育

No.29.30合併号

全国愛鳥教育研究会

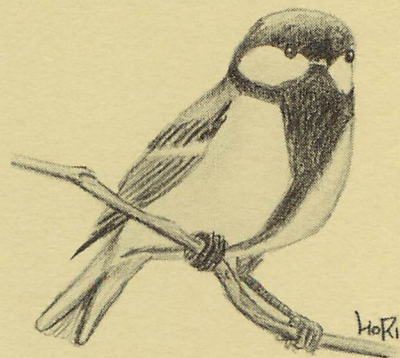
愛鳥教育

No.29.30

1989. 3

目 次

巻頭言	江袋島吉	3
昭和63年度全国鳥獣保護実績発表大会 環境庁長官賞受賞校実践報告 「英国ソートリー小学校との交流活動を中心に」	岩淵成紀	4
むらの理科ことはじめ(3) 「ヤマカガシの逆襲」	金井郁夫	12
R S P Bプロジェクトガイド (続) 「学校のできる野鳥の研究」 杉田優児・杉田真紀子・杉浦嘉雄訳		13
編集後記		22
〈付録〉「昭和63年度全国鳥獣保護実績発表大会報告書」		



山階芳麿先生のご逝去を悼む

「鳥類保護の意識の点で、一番いいのは小学校の子どもたち、次は児童を指導する小学校の先生、遅れているのは一般の大人たち、最も遅れているのは政府と国会議員。」

全国愛鳥教育研究会会長 江袋 島吉

40年間の長きにわたって、(財)日本鳥類保護連盟の会長職にあられた(財)山階鳥類研究所所長の山階芳麿博士には、去る1月28日、東京専売病院で、肺炎のためご逝去されました。

山階先生は昭和天皇のお従兄で、明治42年に山階菊麿王のご二男として誕生されました。

先生が鳥とのかかわりを持つようになったのは5才の時で、鳥好きの父宮と共に標本店を訪れた際に、美しい極楽鳥に魅せられ、強くせがんだが容れられず、代わりにオシドリの標本を買ってもらい、これがコレクション第1号となりました。

先生は成人されると旧侯爵となられ、明治天皇の命令で陸軍幼年学校、陸軍士官学校をご卒業の後、陸軍の砲兵将校となられました。

しかし、軍人が肌に合わず軍籍離脱を申し出、天皇のご沙汰を盾に認めなかった軍の上層部を辛抱強く説得して、中尉の時に軍籍を離れましたが当時の皇族としては勇気の要る決断でした。

昭和4年に東京帝国大学理学部動物学科に入学、その時の心境を「かごの鳥が解放されたような気持ち」と語って、鳥の研究に励まれました。

昭和7年、自邸に山階鳥類標本館を開設、念願の研究生活が始まり、鳥の宮様として親しまれるようになられました。これが発展して現在の山階鳥類研究所になっています。

昭和8年には「日本の鳥類とその生態」の名著を発表して、学界の注目を集めました。

昭和22年3月、日本鳥類保護連盟が発足すると幹事長に就任、同年4月10日を「バードデー」(愛鳥の日)とすることを提唱し、日比谷公会堂において第1回の記念行事を行なっています。

翌23年からは会長となり、25年には毎年5月10日から16日までを「バードウィーク」(愛鳥週間)とされた。これは北海道や東北地方の気候に配慮したこと、1日だけでは効果が上がらないことの二つの理由からでした。

また、日本鳥学界名誉会頭、国際鳥類保護会議日本支部長として、深く広く国内の鳥類保護や愛鳥活動の国際交流に活躍されました。

昭和52年には、鳥類学者のノーベル賞といわれるデラクール賞を受けられ、翌53年には、オランダ王室からゴールデンアーク勲章を授与されています。

農林省の中央鳥獣審議会委員としても、鳥獣保護と狩猟の適正化に努められ、「外国では狩猟家は鳥類保護の提唱者であり実行家である。日本の狩猟家も質を高めて欲しい」と要望されています。

このように、輝かしい業績を残された先生を失うことは誠に痛恨の極みですが、ただただ御魂の安らかならんことをお祈り申し上げますのみです。

なお、頭書に掲げた言葉は7年前に述べられた先生の警句ですが、その意味するところを十分に味わい、会員の皆様と共に、愛鳥教育のために微力を尽くしたいと考える次第です。

■昭和63年度全国鳥獣保護実績発表大会

環境庁長官賞受賞校「宮城県仙台市立中野小学校」実践活動

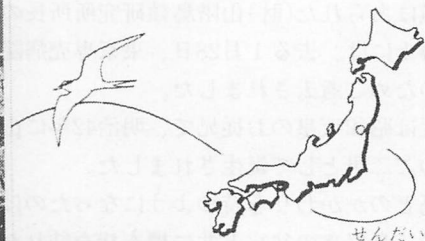
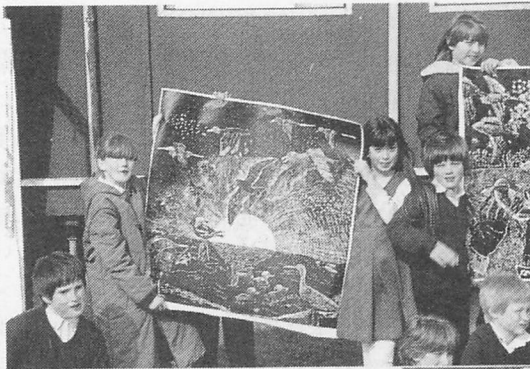
Sawtry County Junior Schoolとの交流

「イギリスケンブリッジ州の公立小学校」

活動を中心に —全校で取り組む自然保護活動の記録—

吉田 繁子 鳥獣保護連盟事務局 編集

仙台市立中野小学校教諭 岩淵成紀



中野小とソウトリー公立小学校（英）との国際交流

中野小制作教材用絵はがき

はじめに

本校がイギリスのケンブリッジ州にあるY.O.C. (The Young Ornithologists' Club : P.S.P.B 事務局にある英国青少年鳥類保護組織) に「学校会員として参加しているSawtry County Junior School」と、交流をはじめのきっかけとなったのは、1985年12月に全国鳥獣保護実績発表大会で、本校が日本鳥類保護連盟会長賞を受賞した際に資料として送った1メートル四方の「愛鳥版画シリーズ(全6点)」でした。

この作品が1986年3月に、鳥類保護連盟ヨーロッパ鳥類保護団体訪問の際、当時連盟の愛鳥教育主任杉浦嘉雄氏によって日本の子ども達の愛鳥活動の一例としてイギリスのR.S.P.B.、フランスの

L.F.P.O.等の鳥類保護団体に紹介される機会を得たのです。杉浦氏は、なおこの作品をイギリスY.O.C.組織のひとつSawtry County Junior Schoolに紹介し、鳥獣保護活動を通して日本の愛鳥モデル校とイギリスのY.O.C.との国際交流にまで活動を広げることができないだろうかと考えられ、同校J.E.Garner 校長先生、Y.O.C.担当のV.S-ingletary 先生と愛鳥活動姉妹校としての交流活動の話をも具体的に進めてきて下さいました。

杉浦氏の帰国後すぐに、その話が本校に伝えられ、私たちは、子ども達と共に大喜びし折り返し、返事と作品をイギリスに送りました。それ以来、交流は続き今年で3年目に入りました。



交流のきっかけとなった愛鳥版画シリーズ

1. Sawtry County Junior School の紹介

(送られてきた資料より)

Sawtry County Junior School は、イギリス、ケンブリジシャー、Huntingdon にあり、7～11才までの子ども達が学んでいます。

1985年時は、8クラスの構成で、1st Year～4th Year までの4段階の学年に分かれていて、1学年2クラスずつになっています。

また学校には、Extra School Activitiesがあり、この中には、サイクリングクラブ、Dance / Dramaクラブ、ギタークラブ、カントリー・ダンシングクラブ、Water Safetyクラブ等があり、Young Ornithologists' Club の活動もこのE.S.A.の中で行われています。

また、クラスは学年2クラスずつの壁のないオープンスクールの作りになっており、広いホールやキッチンもあり、芝生のはりめぐらされた広い校庭や、学校の裏には、ミニバードサンクチュアリーとそれを観察できるハイド（野鳥に気づかれずに観察できる施設）も設置されています。



Sawtry County Junior School 全景



Cambridgeshire

Headteacher:
J. E. GARNER B.A.

Sawtry County Junior School,
Middlefield Road,
Sawtry,
Huntingdon, Cambs.
PE17 5SH
Telephone: Ramsey (0487) 830204

17th. January, 1987

Mr. Shigeki Iwabuchi,
Sendai Public Nakano Primary School,
No. 152, Aza Nishihara,
Nakano, Sendai-shi,
Miyagiken 983
JAPAN

Dear Mr. Iwabuchi,

Thank you very much for your letters, the pictures and the styrene foam carvings which we received a few days ago.

Our children were very interested in all the things which you sent. They are very keen to learn about the birds of Japan.

We are now working on some pictures of birds which can be seen around our school and we hope to be able to post these to you in about 4-5 weeks time.

The weather in England is very cold now. The ground is covered with snow. We are putting out as much food as we can to try to keep the birds alive in the bitter weather.

We look forward to hearing from you again in the future.

Yours sincerely,

V. Singletary

V. Singletary

2. 交流活動の実際

(1)中野小から Sawtry County School に送った作品

中野小から Sawtry County Junior School に送った作品は次の通りです。

1986. 3 6年制作「愛鳥版画シリーズ」(全6点)

1986. 12 バードカービング 5点
(スチレンホーム カービング)

野鳥の絵 6点

1987. 12 全校児童による絵はがき年賀状 270点

1986年12月に贈った作品は、6年生の作ったバードカービングの作品(発泡スチロールで作った物 英ではスチレンホームカービングと言うことが後の手紙でわかったもの)6点と、1年生による蒲生干潟の野鳥たちの絵です。

また、1987年12月には、全校児童による絵はがき年賀状を送りました。この絵はがきは、地域教材学習用として中野小独自に制作したもので、裏には、野鳥の姿や自然保護を訴える私たちの手による写真が印刷してあります。そして、表に子ども達が日本語でメッセージと絵をかき、英訳は在仙の米国人ダナ アンダビルさんとフィリピン出身の父兄庄司マリーンの手を借り、「干潟をいつまでも守って行きたい」「ぼくの好きなコアシサシはイギリスにもいますか」などを英文にして書き加えてもらいました。

(2)Sawtry County Junior School から贈られた手紙と作品

Sawtry County Junior School からは、V. Singietary 先生から次のような手紙をいただきました。

手紙の内容は、中野小から送られてきた絵やスチレンホームカービング、あるいは、手紙に子ども達は大いに興味を示し、もっと日本の野鳥について学びたいと思っていること、そして、今、学校のまわりの野鳥についての絵を制作中であり、

4～6週間後には送りたいと言うことが書かれてあり、さらに、イギリスの気候は大変厳しく、地面は、雪で覆われており、子ども達は、この厳しい冬の中でも野鳥たちが生きていけるように、できるだけ給餌活動を続けていることなども書き加えてありました。

私と子ども達は、どんな作品が届くのだろうかと毎日イギリスから送られてくる小包を待ちました。

そして、ついに1987年3月次のような手紙と共に作品が届いたのです。



Cambridgeshire

Headteacher:
I. E. GARNER B.A.

Sawtry County Junior School,
Middlefield Road,
Sawtry,
Huntingdon, Cambs.
PE17 5SH
Telephone: Ramsey (0487) 830204

20th. February, 1987

Mr. Shigeaki Iwabuchi,
Sendai Public Nakano Primary School,
No. 152, Asa Hishihara,
Nakano, Sendai-shi,
Miyagi-ken 983
JAPAN

Dear Mr. Iwabuchi,

We are sending you some pictures made by the children of Sawtry Junior School and some posters which are prepared by the Young Ornithologists Club for distribution to English schools.

There is also a copy of bird life - the magazine of the Young Ornithologists Club which is printed six times per year.

We hope that you and your children will find these pictures and posters to be interesting and helpful.

We are sorry that we are not able to send a copy of the letter printed in your own language.

With best wishes,

Yours sincerely,

Vic Singietary

Vic Singietary

LIST OF PICTURES

Large picture - Feeding birds in Winter	by A class of 7-8 year olds
1. Blue Tit	by Karen Watson - girl aged 10
2. Blue Tit	by Andrew Donne - boy aged 9
3. Purple Heron	by Russell Pannell - boy aged 9
4. Greenfinch	by Zoann Pawsey - girl aged 9
5. Robin	by Philip Clover - boy aged 9
6. Robin	by Donna Brown - girl aged 10
7. Robin	by Paul Goldsmith - boy aged 9
8. Pheasant	by Karen Watson - girl aged 10
9. Pheasant	by Kelly Thompson - girl aged 9
10. Pheasant	by Nicola Neave - girl aged 10
11. Pheasant	by Kate Allan - girl aged 10

POSTERS

1. Action for Birds
2. Silent Hunters
3. Save the Uplands

Bird Life - Magazine of the Young Ornithologists Club

V. Singletary 先生から次のような手紙が送られてきました。

ソウトリー公立小学校の子ども達の絵と、
Y. O. C. から英国の学校に送られるポス

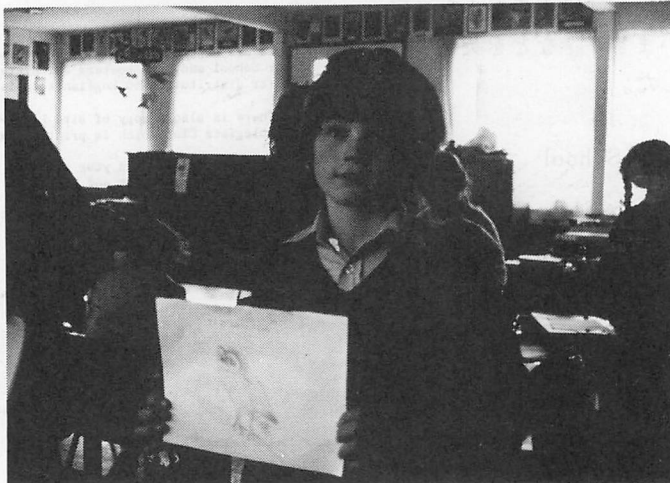
ターを送ります。

それから、1年に6回ほど出されるY. O. C. の雑誌バードライフのコピーです。

私たちは、あなたの学校の子も達が絵やポスターに興味を持ってきて、それがまた何らかの形で学習の援助になれば幸いです。手紙を日本語で送れなくてすみません。

そして、絵のリスト表も付けられていました。子ども達は大喜びで「イギリスではロビンがズメといっしょに庭にくるのか」「ブルーティットというのはイギリスのシジュウカラのことなのかなあ、日本のとは、お腹の黄色いところがちがう」とか「Song Thrush (ウタツグミ) というのは、日本のツグミとどうちがうのか」とか「Common Gull (カモメ) やBlack headed Gull (ユリカモメ) がいるのだから海が近いのだろう」とか「Upland というのは、どんなところなんだろう」とかイギリスの野鳥たちの魅力に引き寄せられていくのがとてもよくわかりました。

また次のような写真も送られ、野鳥の絵やモデルが所せましと飾られている様子やイギリス独特の色彩感覚に驚きと興味をさらに深めたようです。



野鳥の絵を持つソウトリーの子も

本校では、国際交流コーナーを昇降口に設け、常に子ども達の目に触れるように掲示を工夫し、子どもの理解を深めようとしています。

1988年7月には、イギリスのCountry Song の入ったカセットや、チューダー王朝時代の歴史を描いたアルバムも送られてきて、交流の範囲も広がってきました。

しかし、Y. O. C. のV. Singletary 先生は、病気になり、退職なされてしまったことが分かり、大きなショックを受けました。Y. O. C. の活動は、11才の子どもが中心になっているのだそうです。

新しいY. O. C. 担当の先生が決まり、野鳥を通じた交流が一層長く続いてくれることを本校では望んでいます。



国際交流コーナー

3. Sawtry County Junior School との交流がもたらしたもの

Sawtry County Junior School との交流がもたらした本校への効果は大きいものでありました。

それは、鳥獣保護について国際的な視野に立つて考えることができるようになったことにあります。ここにその一例を紹介しましょう。

(1)留学生との野鳥観察

1988年5月、毎年行われるバードウィークの行事「愛鳥の集い」に今年は東北大に学ぶ留学生8人を招待し、いっしょに蒲生干潟の野鳥観察をしました。

留学生たちは、観察前の交流会の中で、自国の自然や野鳥について話したり、子どもたちから質

問を受けたりしていました。

メキシコから来ているフローラ・マリアさんからメキシコにはセキレイの仲間は、全くいないと聞き、「鳥630図鑑」（鳥類保護連盟）で調べてみるとセキレイは、ヨーロッパ、アジア、アフリカにしか棲んでいないこと、特にセグロセキレイは、日本と韓国にしか生息しないと知り逆に驚いたり、蒲生の干潟のような美しい自然が世界的にも少なくなってきたことを聞き、自然保護の大切さを再認識したりで、とても大きな勉強の場となったようです。

野鳥を通して国際交流



見える見える 鳥がいっぱいいるよ

5月13日、野鳥の生息地として全国的に有名な蒲生干潟にほど近い仙台市立中野小学校（三品恒雄校長、児童数270人）で、「愛鳥のつどい」が行われました。

毎年愛鳥週間に行われるこの行事、今年は初めて、海外からの留学生8人を招き、蒲生干潟で野鳥観察を通しての交流会となりました。

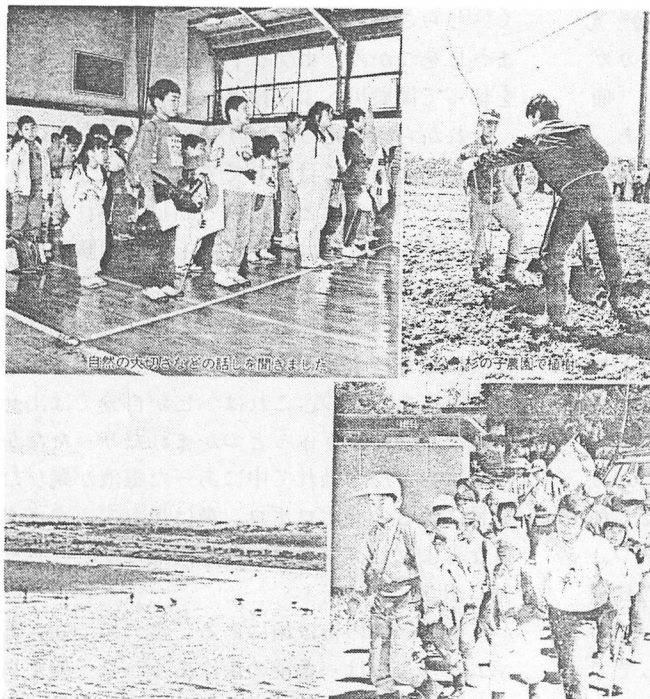
この会を持つことになったきっかけは、今年の始めに仙台市生田で行われたたこあげ大会に参加した同校の5、6年生が、留学生と一緒にもちを食べたり、写真を撮ったりしたことでした。

留学生たちとは干潟でおちあうことにし、子供たちは体育館に集合。先ず三品校長から、自然の大切さ、人を思いやる心、国際理解の意義についてお話があり、その後、仙台農林事務所、仙台猟友会から送られた、野鳥が好きな実を付ける木（ウメドキ3本、ムラサキシキブ20本）を、同校の「杉の子農園」に植樹、そして現地へと移動しました。

干潟では、留学生一人ひとりの自己紹介、野鳥クラブの児童たちのコサギ、カルガモなど春の鳥の説明と続き、8つのグループに分かれた子供たちに一人ずつ留学生を迎え入れ

「おわり」も二軒野のみな 翼のどけいマサ

大野共全 委員会委員代表



交流会が始まりました。

初めは、緊張のあまりコチコチになっていた子供たちも、野鳥や、学校生活、父母のことなどの話が進むにつれ盛り上がり、いつのまにか打ち解けて留学生と一緒に野鳥観察やゲームに楽しいひとときを過ごしました。

この日は、風が強く、時折雨も混じっての悪天候となりましたが、子供たちにとって、遠くに思われていた外国が身近なものに感じられ、実りある愛鳥のつどいとなったようです。

メキシコから来ているフロールマリアさんは「大学で勉強するだけでなく、こういう機会があれば、いつでも行きます。私たちは、国に帰って日本の人たちに会ったら、きっと話し掛け、交流の機会をつくり、日本と自国のために役立ちたいです」と、子供たちと固い握手をして別れたのが印象的でした。

(2) 雁の里親キャンペーンへの参加

雁を保護する会が、ソ連のカムチャッカの研究者ニコライ・ゲラシモフ博士と共同で行っている標識調査でこれまで渡りのコース解明に大きく貢献している「雁の里親キャンペーン」は、イギリスでもカモ類の調査に採用されています。現在、中野小でも、低、中、高学年に一羽ずつ里親を持つために、投票で名前が決められました。

ガン太郎、ガン太、ガンバがその名前で、渡りのコースが解明されると共に、それらの雁たち一羽一羽が無事でいてほしいという愛鳥の心が子ども達に育ちつつあります。

地域の自然から視野を広げ、グローバルな視野で自然保護全体を考え、そして再び、自分達の住む蒲生の自然を考えることができる子ども達。中野小の子ども達は、そんな子どもに育ってきています。

4. おわりに

今回Sawtry County Junior School との交流をまとめるにあたって、3年間にわたる交流活動のご指導と共に発表する機会を与えて下さった(財)日本鳥類保護連盟の杉浦嘉雄氏に厚くお礼申し上げます。

また、私たちの学校を出発点として、日本の愛鳥モデル校における国際交流の輪が中国・フランス・オーストラリアと、しだいに広がっていることを知り、その責務の重さに今さらながら驚いた次第です。

他の愛鳥モデル校の国際交流のための参考資料となれば幸いです。

ヤマカガシの逆襲

当研究会副会長 金井郁夫

授業始めのあいさつが終ったとたんに山本が「先生！聞いてくれ〜」、「何だ」、「おれヤマカガシにやられたぞ」、「どこを」には「目だ」「痛かったろうな」、「先生知ってんのか」、「ああ、やられた事はないがヤマカガシには2個所に毒のある事は知ってたな、それで伍作のはどうだった」「うん、痛えの痛くねえのってひでえもんさ、何か目の中へ入ったとたんに目んたまが焼けどしたみてえで脳みそまでしびれたぞ」には全員爆笑である。山本はむきになって「おめえら笑いごとじゃあねえぞ、こんどやられてみな」ではまたもや笑い復活である。

おさまるのを待って「それにしても伍作、えらい経験をしたもんだな、その時の事を話してくれないか」には「うん」、「それはいったいつ、どこでの話なんだ」、「ええっと、この前の日曜日だから5月16日かな、長沼橋の近くを歩いていたらヤマカガシのやろうがによろよろってでてきやがんのよ」、「どのくれえのでかさだ」、「えーと」で一休み、首をかたむけて思い出すように「このくれえはあったかな」と両手をあげる。「それじゃあ1m近いな、するとヤマカガシとしちゃあ完全なおとなだ、で、ふとさはどんなもんだった」にはさらに困った様子で「こんなもんかなあ」と親指と人さし指で輪をつくる。

「けっこうふといな、雌かもしれねえな、それでどうした。」「すぐつかまえて橋の所へ持って行き、らんかんの上へ乗せて遊んでたんだ、逃げようとしたら頭やしっぽをつかんでまた元へ戻してやったのよ」、「ぼつぼつやられそうだな」と菱山がちゃちをいれると山本はニヤリ、「それからどうした」の催促には「また逃げんべえとしたからあわてて首んとこをビシャツ、とひっぺてえたとたんに、目がヒリヒリッときた」、「それでへビはどうなった、逃げちゃったろう」、「逃がすようなへまはしねえさ、いてえっと手を目へ持ってゆき残った目で見るとへビも氣い失ったらしくのびてんのよ、すぐつかまえて……」と間をお

く「じらさねえで続けろ」には「右目つぶったままへビをつかみ、ポケットから小刀だしてな、首を切って湯殿川へぶん投げちゃったわ」。

それから家へ走って帰り井戸水で目を洗い、手ぬぐいをぬらして目にあてて横になっていたら1時間ほどで痛みはとれた、と話してくれた。

「さて、それでは伍作目ん玉事件の解説をするどだな、誰でも知っているカエル食いで田んぼに多いヤマカガシは無毒へビ、となっているけど2個所に毒を持つてるんだ、その一つが伍作がやられた首にあるやつ、これはへビが自分では出せないんだな、首をぎゅっとつかまれたり、たたかれたりすると皮が破れて中にあった毒液が飛びだして目に入ると涙ポロポロ、鼻は鼻みずポタポタ、口ならよだれタラタラ、それに痛みがヒリヒリと付く訳だ」

「もう一つの毒は歯にある、毒の牙で知られるマムシの毒腺は一番前の歯にあるから、顔が当たるとたんに牙が刺さり毒が入っちゃうんだ、ところがヤマカガシの毒牙は一番奥にある、へビに咬まれて、はいどうぞ、と奥へ手をさしこむ者はまずいまい。反対にさっと引っこめてしまうから、前歯での傷は付いても毒にはやられない、そのうえ、ヤマカガシはおとなしいへビで、よっぽどひどい事をしないかぎり咬みつかないから毒のある事が知られなかったんだな。これから皆もヤマカガシと遊ぶ時は首と奥歯に気をつけるんだぞ、わかったな」、「はい」で今日の部はおしまい。

BIRD STUDIES USING SCHOOL GROUNDS

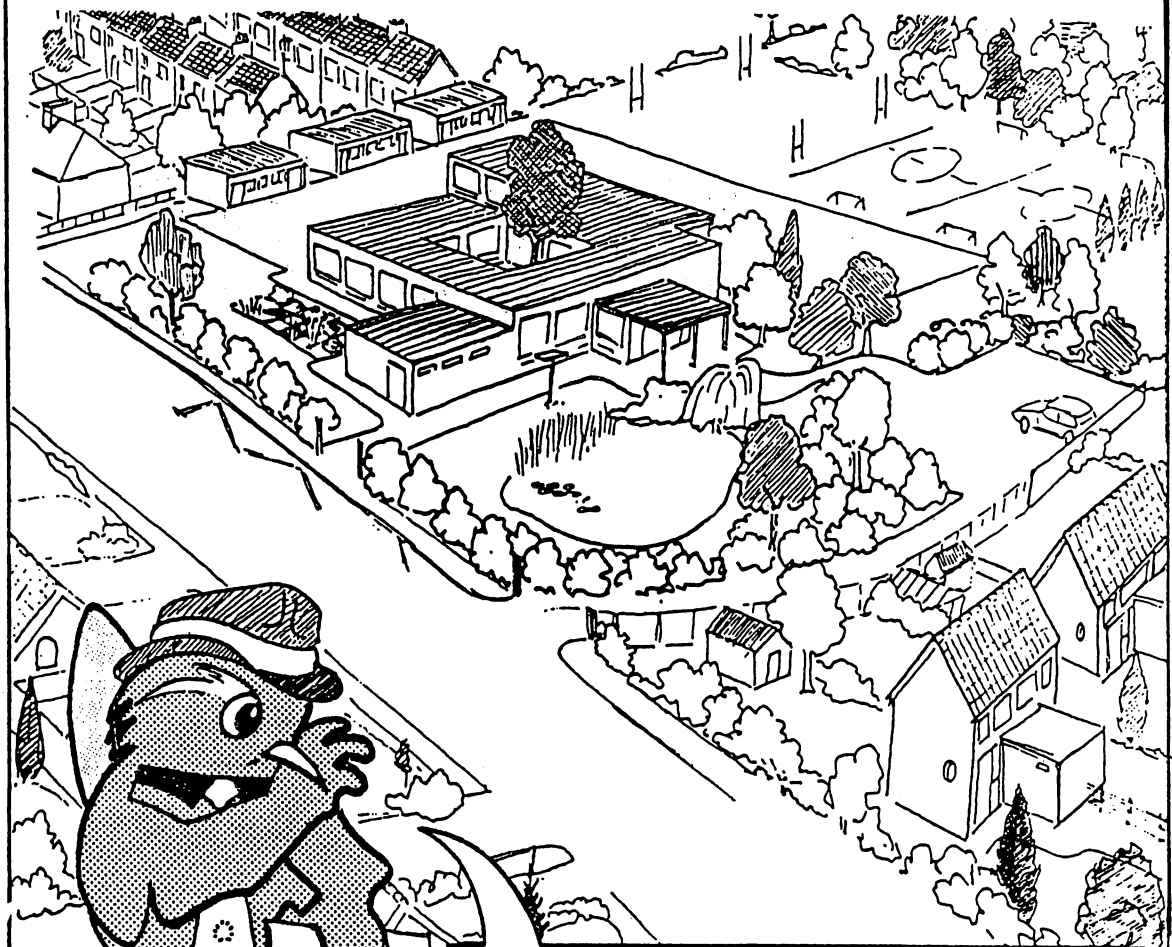
『学校でできる野鳥の研究』



(続)

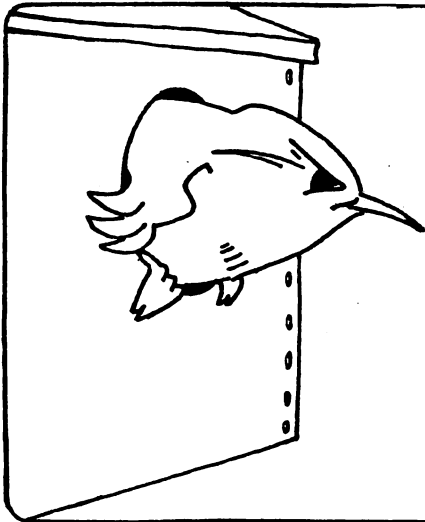
PROJECT GUIDE

杉田優児・杉田真紀子・杉浦嘉雄 訳



わくわくするような研究を求めて、
さあ、始めましょう！

イギリス鳥類保護協会 (RSPB)
リーダー用パンフレット



巣箱：今ある学校の環境の中で巣作りの場所を見つける鳥もいますし、人工的に用意された場所（たいていは巣箱ですが）があって初めて巣作りをしようとするものもいます。巣箱は家や学校で手軽に作ることができるし、買うこともできます。

巣箱があれば鳥のためになるでしょうし、繁殖の様子について多くのことがわかるでしょう。ほかの場所でもそうですが巣箱は注意深く扱わなければいけませんし、また、いたずらされたり、持っていかれたりする危険のない場所に置いてください。もしそうになってしまいましたら、鳥は傷つきますし、子供たちも動揺するからです。

アオガラのみ



シジュウカラ
スズメ（ほんの少し
大きめでもよい）



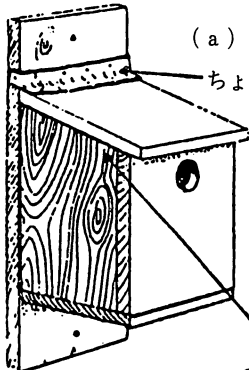
ゴジュウカラ
マダラヒタキ



イエスズメなど



巣箱の入口の穴の大きさをえることで色々な種類の鳥を呼ぶことができます。また、あなたのいる環境によって、家を提供してあげられる鳥の数や種類も違ってきます。もし一番近い木の茂みが800m以上森から離れているのなら、森に住む鳥に来てもらうことは難しいでしょう。



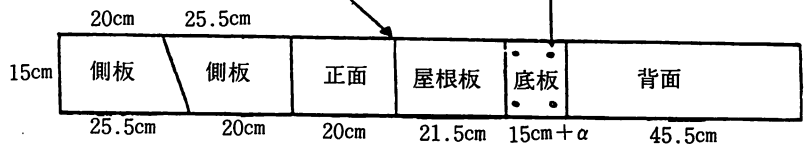
(a)

ちょうつがい

屋根がピッタリあうように
角度をつけて切ってください。

材料は、厚さ約1.3cmの
板がよいでしょう。

排水用の穴をあける。

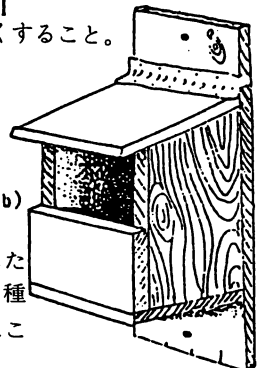


注意：この15cmに正面の板の厚さだけ+α 大きくすること。

ホックや留め金で
屋根板をとめる。



(b)

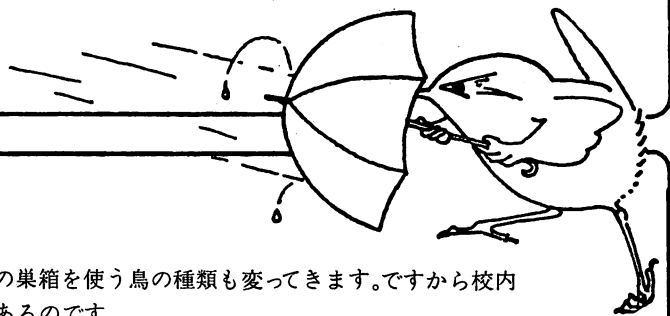


正面の板の上半分を切り取って巣箱を改造することもできます。図の(b)に示したこの様な巣箱なら、コマドリやセキレイやミソサザイのような改造する前とは違う種類の鳥を呼ぶことができます。もし、視界が開けていて、植物で覆われた塀の所にこれがあれば、夏鳥のムナフヒタキがやってくるかもしれません。

巣箱に関するアドバイス

巣箱のための場所を選びなさい

- 真昼の太陽から守られていること。特に塀に取り付ける場合にはこの事を十分に注意すること。
- 教室から観察できる場所で、かつ巣作りの妨げにならない場所であること。
- 巣箱が、その近くの柵や木にすわっている猫から安全な場所にあること。
- エサ台から離れていること。もし巣箱がエサ台にあまりにも近づきすぎていると、エサ台に自分と同じ種類の鳥たちが来るので、テリトリーを作ることができず、結局巣箱による繁殖も失敗に終わることでしょう。
- 巣箱をほんの少し前に傾けること。入口の穴から直接雨が入らないようにするために、特に木に取り付けるときには、この事はよく憶えておくとい良いでしょう。



他のポイント

入口の穴の大きさを変えることでその巣箱を使う鳥の種類も変わってきます。ですから校内に2つ以上の巣箱を置くことが意味があるのです。

入口の穴は適当な柄の長さの曲がり柄つきドリルであけられます。また、糸鋸を使って同じようにあけられます。

作り立ての巣箱の木の明るい色は巣箱をいたずらしようとする人の目につきやすいものです。そこで保護色（巣箱の外側に暗色の塗料）を巣箱に塗ることでまわりの環境と調和させることができます。これは巣箱を長持ちさせるのにも役立ちます。ただし、消毒防腐剤などを塗るのはやめたほうがよいでしょう。

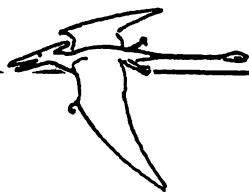
鳥が卵を産んだりヒナを抱いたりするときに邪魔をすると鳥は自分の巣を放棄するかもしれません。

繁殖が終わったら、古い巣の材料は取り除いてしまった方がよいでしょう。古い巣材は次に鳥が巣箱を使う妨げになります。

巣箱は1年中使われることになるかもしれません。ヒナが巣立ち、家族が別れ別れになった後で、親鳥のうちの1羽が戻ってきて、ねぐらとして使い、翌年の巣作りが始まるまでいるのかもしれないのです。



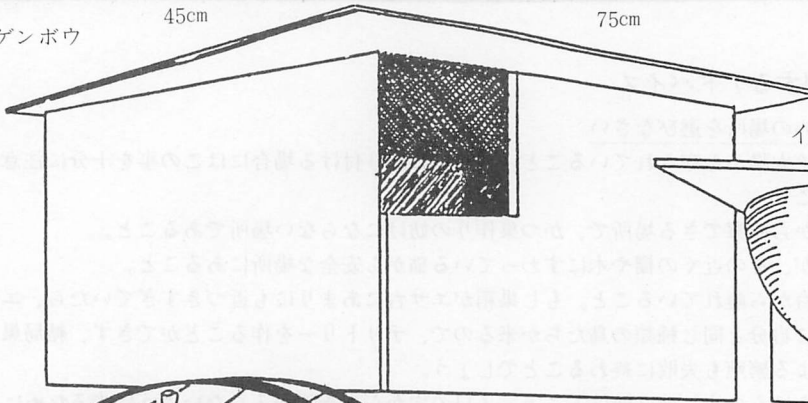
他の鳥のために工夫された珍しい巣箱もたくさんあります。これはBTO^{〔※〕}「巣箱」のパンフレットによく出ています。（BTOはイギリスの鳥類調査研究組織の名前。31ページの文献を参照）。キバシリ、アマツバメからフクロウ、チョウゲンボウにまで及ぶ鳥が対象です。ほかにも動物用の巣箱もあります。次のページにそのいくつかを紹介しましょう。



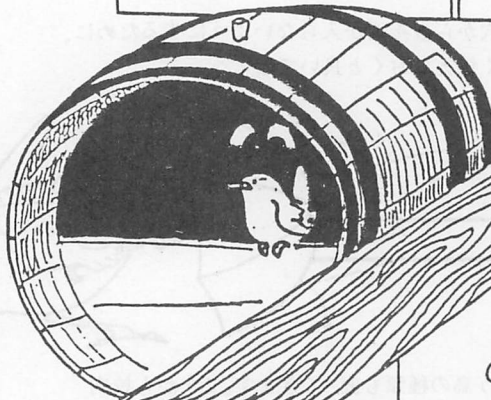
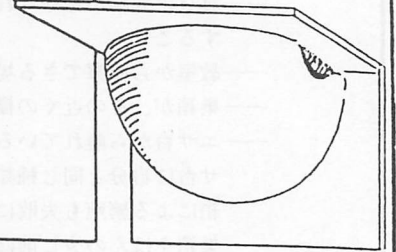
チョウゲンボウ

45cm

75cm



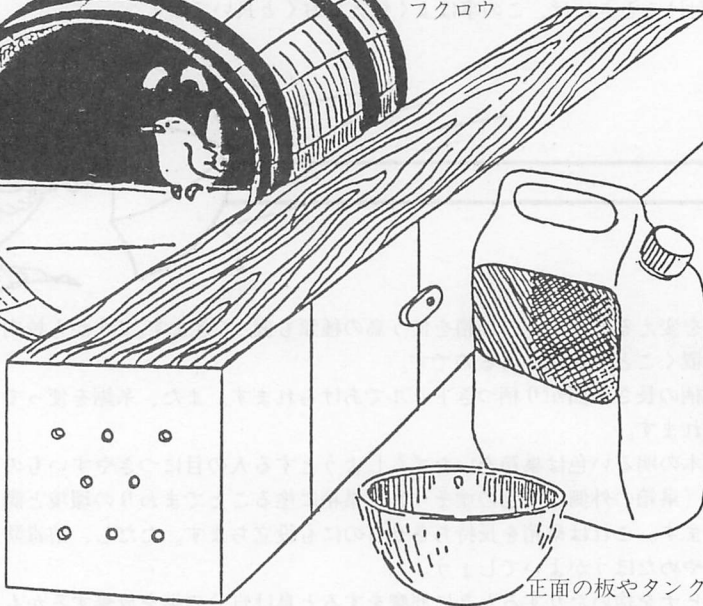
イワツバメ



フクロウ

樽や筒でつくった
フクロウの巣箱

こちらの端はフ
タをしないこと。



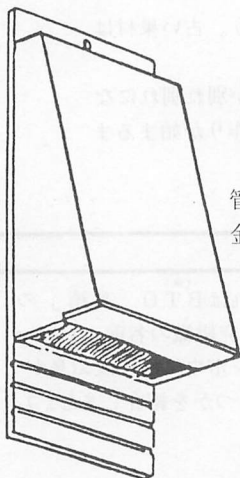
正面の板やタンクの側面の
上半分をとりのぞいたものや、半分に
わったヤシの実は、ヒタキ類やロビン
やハクセキレイの仲間の巣箱にもなる。

45cm

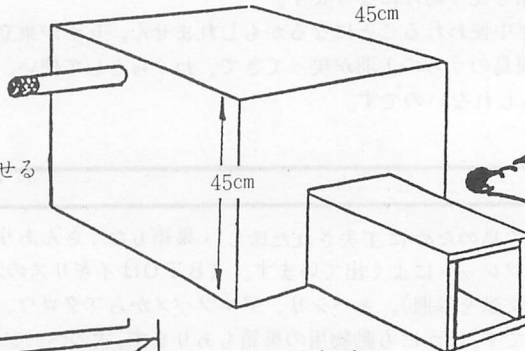
45cm

風通し用
の管

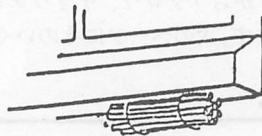
管の端は、
金網をかぶせる



コウモリ



ハリネズミ



昆虫のためのワラ束



水

水は鳥にとって飲み水としてまた、水浴びの場所として大切なものです。池のふちで巣を作るための泥を集めるものもいます。水場を用意すればいろいろおもしろい観察ができるでしょう。

もし、学校の状況が許すのなら一番よいのは永久的な池を作ることです。この池では鳥だけでなく環境についても色々な面白い研究ができます。この様な池が無理な場合は、一時的に水場を作っても良いでしょう。



一時的な水場

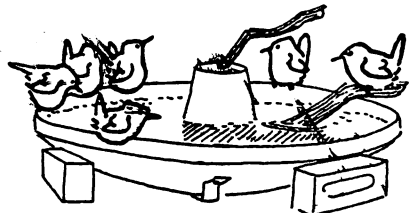
お盆やお皿などなんでも水場にすることができます。鳥が簡単に水浴びできるように縁に緩やかな傾斜をつけることができれば理想的です。一定の深さの容器を使う場合は小さな鳥でも足が立つような浅いものにしてください。

お皿は見通しがよくきき、水浴びをしても安全な場所に置いてください。すぐ近くに柵や木の様なものがあれば、水浴びをした後で羽根をととのえる格好の場所になることでしょう。乾燥した季節や凍りつくように寒い時期は水場を探すのが難しくなるので、そういった時期こそ皆さんの用意する水場が一番喜ばれるときです。水が脹る季節になったら皿のそこに1枚のポリエチレンを敷いてみてください。水の入れ替えが簡単になります。——

水が凍らないようにと水に何かを入れるようなことは絶対にやめてください。定期的に水を替えることで凍るのを防ぐことができます。また、熱帯魚用の水槽のヒーターを入れたり、水の容器の下に逆さにした植木ばちを置き、その中でろうそくを燃やしてみても良いでしょう。



3つのレンガの上にごみ箱のふたを置いてそれに水を入れてみましょう。理想的な水浴び場のできあがりです。これに植木ばちを入れ、枝をさしてごらんください。止まり木のできあがりです。でも、これはどうしても必要なものではありません？



池

まず、どこに池を作ったら一番良いか考えてみてください。寒い時期に池が氾濫するようなことがあったらどうなるでしょう？もしそんなことが起こったら、小さな子供にとってはとても危険です。もし、鳥を捕まえようとする猫がうろうろしているところであれば、鳥を呼ぶことはできません。また、後になって掘り出した土を動かすのは難しくなりますから、あらかじめそれを置く場所も考えておくことも必要でしょう。

何をしたら良いか

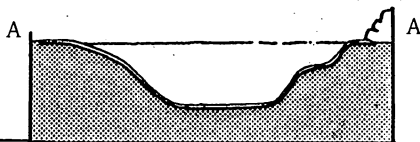
地面の上に釘と糸で池の縁のしるしをつけましょう。それから池を掘ります。できるなら池から十分離して掘った土を置いてください。池の一方は浅く、もう一方は深くしてください。あとで底を敷いたり、土で覆ったり、植物を入れたりしますから、浅い側にもはじめのうちは、ある程度の深さがが必要です。

池の内側に必要なもの

池の水をもらさないために内側のおおいを確実にしましょう。グラス繊維でできた池の池の鋳型を使っても良いのですが、柔軟な厚いブチルゴムを使った方が簡単です。ブチルゴムを使えば好きなだけの大きさの池を作ることができます。どんな形の池を作るにしろブチルゴムは安いものではありませんが、しかし、材質は良いものを使うべきです。ポリエチレンなら安くすみますが、水漏れがおきたらせっかくの仕事もすべて水の泡になってしまいます。

コンクリートで池の底を作ることもできますが、それには労力がかかりますし、野生生物にとってもあまり良い環境とはいえません。

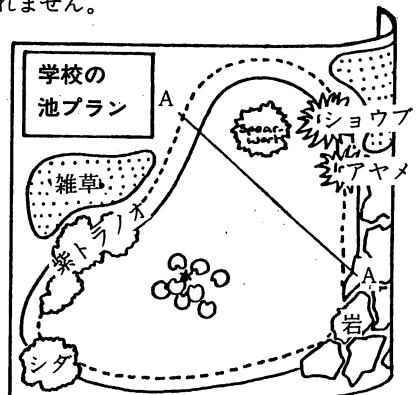
新聞をたくさん重ねたり、ふるいにかけて石を取り除いた土を池の底に敷きましょう。こうすればブチルゴムがなにかとがったものにあたって破れるようなことはありません。池の穴を掘ったら、そこにブチルゴムを敷きます。ブチルゴムは底全体と側面とさらにその周囲30cmをおおう大きさにしてください。土で側面を覆うことになるので側面の勾配はあまり大きくしないほうが良いでしょう。



植物を植える場所にはたくさんの土が必要です。植物を植える所にはたくさん土を敷いてください。それから、もしできるならホースを池の横に置き、土を洗い流さないようにゆっくりと水を入れてください。水の重さでブチルゴムが沈み、ブチルゴムの周囲もずり落ちてきますから水を入れるまではブチルゴムの周囲を切り落としてはいけません。ブチルゴムの端を切り形を整えたら、端の部分も土で埋めましょう。ブチルゴムは太陽の光の影響を受けやすいのでブチルゴムの周囲全てが土に埋まっているか確かめてください。水を入れて濁りがなくなったら自然の池から少し水を汲んできて入れましょう。こうすれば、オタマジャクシが餌にできるような微生物がすむようになります。

植物を植える

池の回りにロックガーデンを作ったり、平たい石か大きな石を置けば池の端が落ちてこないように押さえておくことができます。池を掘るときに出た土を池の周囲に盛り、植物を植えましょう。池の中や周囲に植物を植える1、2週間前に水を入れてください。マツモは水を新鮮な濁らない状態にしておいてくれます。イグサや水性忘れな草や水性ハッカ、オモダカ、紫トラノオを植えるのも良いでしょう。また周囲にはキンレンカ、サクラソウ、ショウマなどが考えられます。池に植える植物は池を持っている友人やガーデンセンターから手に入れるようにしましょう。野草を採るようなことはしてはいけません。池を持っている人からカエルの卵をもらいうけコロニーを作ることもできます。自然の中からカエルの卵を採ってくるようなことはしてはいけません。また、池のへびをくれる友人もいるかもしれません。



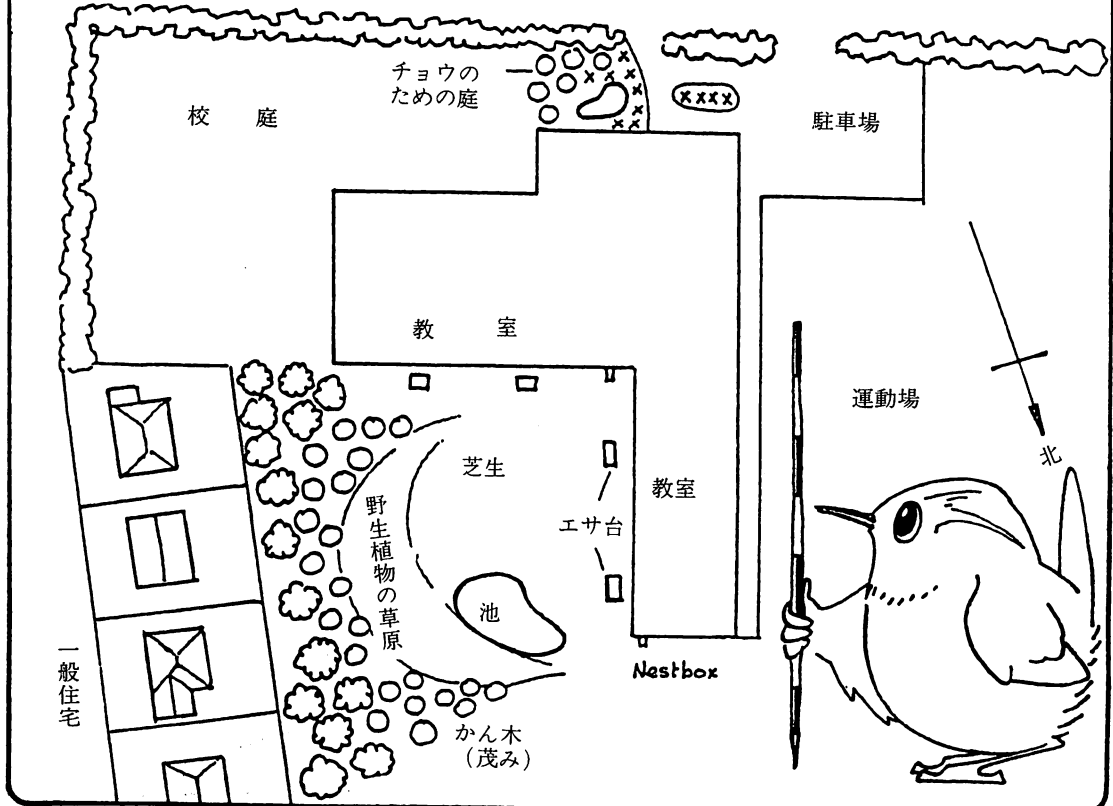
野外学習の広場

「校内での野外学習の広場づくり」は、その活用の可能性の大きさがわかってくるにつれ、ますます広がりつつあります。この広場は、学校のすべての子供達にはもちろんのこと、学校のほとんど全てのカリキュラムに対しても、いろいろな恩恵を与えてくれるでしょう。

野外活動の広場も、活用や管理をしなければ、ただ荒れほうだいの校内の一角にすぎなくなってしまいます。この広場づくりには長期的でしかも注意深い計画が必要です。また多くの隠された危険が数多くありますが、手助けしてくれる人もたくさん見つかるでしょうし、なにしろ報われることの大きい仕事です。20ページには許可やアドバイスを与えてくれる人達のリストがあります。この人達はすべての質問には答えてくれませんが、少なくとも庭師たちがわけもわからず保護すべき場所に入り込んでただひたすら草を刈ってしまうような事態はなくなるでしょう。

場所：広場づくりにあたって場所の選定が一番重要で注意深い計画が必要な部分です。運動場のはずれにあるような地面の荒れている場所は適しません。それではどういう場所が適当でしょうか。何にも使われていない場所は定期的に行くにはあまりにも遠いところになってしまいます。冬になってクラスでそこへ行こうとするときわがわがゴム長靴や暖かい服を用意させてその場所へ行くことになる、結局そこへは行かなくなるでしょう。もし、その場所に定期的に行かなければそこはすぐにならぐたのゴミ捨て場になったりして、その土地を維持管理している人から文句が出て結局は、その場所はなくなってしまおうでしょう。それは、学校にとってもまたそこに住む野生生物にとっても残念なことです。

建物に近くて、さらに教室から見渡せるような場所であればこのようなことは起こりません。毎日何が起きているか観察できます。もし、父兄も毎日その場所を観察できるようなことになれば本当にすばらしいことです。父兄は子供と一緒に勉強することで元気づけられますし、またこのことで、その場所をきちんと管理しやすくなります。下記にその一例を示しました。



野外学習の広場は何を含むべきか

どうやったら野生生物の持つ多様な可能性を一番引き出せるのでしょうか。あなたが作ることのできる植生のタイプを考えてごらん下さい。成熟した林を作るのは非常に長期的な計画になります。野の花や池の周囲の草原環境は一番早くできます。一番のおすすめは池や草原のある林縁環境を作りあげることです。こうすれば、鳥はもちろんのこと虫や小さな哺乳動物や野の花を何層かの環境の中で観察できます。また餌台は必ず用意しましょう。きっと四季を通して楽しめます。



管理計画

どうやって作るかを考えたら次に管理計画を立ててください。これは長期計画であることを忘れないように。今植えたカシヤナラの木は今から200年もそこにあるでしょう。

管理計画を立てるにあたっては簡単にできるものにしましょう。手順としては、どんな仕事があるのか、誰がそれをやるのか、そしてそれをやるのは1年のうちどの時期なのかということを書き出してみましょう。下記のような簡単な計画表を用意すれば仕事もスムーズに行きます。スタッフ・ルームの掲示板にそれを貼り、その写しは校長が持っているようにしましょう。こうすれば、何をやるのに誰が同意したというような議論をする必要がなくなります。また、野外学習の広場も、もし積極的な担当者が、転勤などで学校からいなくなったとしても、スムーズに活用され続けるでしょう。逆にそのような気づかいをしなければ、この広場は開店休業ということになりかねません。

月	週	仕 事	学級
1月	1	毎日の野鳥のエサや水の点検 巣箱の修理や点検	全 4
	2		
	3		
	4		
2月	5	苗床からの苗木の移しかえ	3
	6		
	7		
	8		
3月	9	チョウの食草の種子をまく（例年の時期）	2
	10		
	11		

何を植えたら良いか

野生の草花や木だけを植えましょう。そうすれば自然にとても多くの種類の動物が集まってきます。次のような物が考えられます。(英国での野生植物)

ツルなどのよじ登り植物 ツタ、スイカズラ、野生のキイチゴ類

かん木 ニワトコ、ハシバミ、テマリカンボク、コトネアスター、ピラカンサなど

木 カシ、ナラ、カバ、サンザシ、ナナカマド、モチノキ、ヒイラギ、ヤナギ、ハンノキ、イチイなど

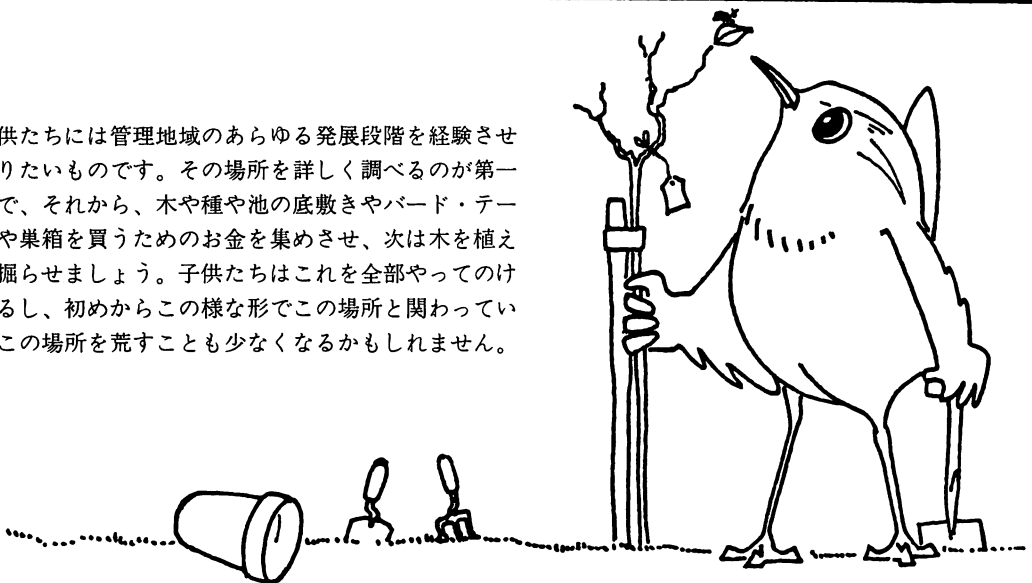
上記の植物がどのような利点をもっているかについて知りたければ20ページのリストにのっている人に聞くのが良いでしょう。

もしチョウを呼びたいなら次に示す園芸植物(英国での外来植物)が良いでしょう。もっと詳しいリストはBritish Butterfly Conservation Society, Tudor House, Quorn, Loughborough, Leics. LE 12 8 AD から取り寄せることができます。

ビジョナデシコ、フロックス、プリムラ・ポリアンサ、アスター、フジウツギ、ニオイアラセイトウ、アイズプラント、シモツケソウ、アキノキリンソウ、

ハーブのなかからもチョウを集められそうな物を探してごらん下さい。

子供たちには管理地域のあらゆる発展段階を経験させてやりたいものです。その場所を詳しく調べるのが第一段階で、それから、木や種や池の底敷きやバード・テーブルや巣箱を買うためのお金を集めさせ、次は木を植え池を掘らせましょう。子供たちはこれを全部やっつけられるし、初めからこの様な形でこの場所と関わっているならばこの場所を荒すことも少なくなるかもしれません。



※RSPB「学校でできる野鳥の研究」(続)の文中にある(P20、P31参照)は、次回の愛鳥教育の同シリーズ(続々)に掲載致します。

編集後記

当研究会・日本鳥類保護連盟・東京都世田谷区共催の“愛鳥研”冬期室内研修会が去る1月28日世田谷区民会館大集会場にて、100余名の参加者を得て盛大に行われました。世田谷区の絶大なご協力をいただき、その後の交流会も楽しく行われ、両会とも無事に終了することができました。

その当日の夜、連盟会長、山階芳麿先生がお亡くなりになったのです。今、思えば、会長ご存命中の連盟最後のイベントになってしまったわけです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(杉浦)

愛鳥教育 No.29. 30 平成元年3月15日

発行人 江袋島吉
発行所 全国愛鳥教育研究会
住 所 〒150 東京都渋谷区宇田川町37-10
麻仁ビル渋谷503
(財)日本鳥類保護連盟内
電 話 東京03(465)8601
郵便振替 東京2-92041
制 作 かなえ書房

——全国愛鳥教育研究会“会費納入のお知らせ”——

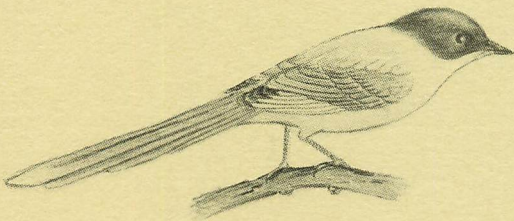
昭和63年度も終わり、平成元年度の会費納入の時期になりました。
年会費 3,000 円を下記の要領でお送り下さい。なお63年分を未納
の方は、あわせて 6,000 円となります。よろしくお願い申し上げます。

郵便振替：東京 2 - 92041 、愛鳥教育研究会(宛)

現金書留： 〒150 東京都渋谷区宇田川町37-10-503

(財)日本鳥類保護連盟内

全国愛鳥教育研究会 事務局(宛)



カット・堀ノ内氏

